

令和8年3月26日

荒尾市長 浅田 敏彦 様

荒尾市立有明医療センターあり方検討会

会長 小野 友道

荒尾市民病院（荒尾市立有明医療センター）第三期中期経営計画の実施状況に関する点検・評価報告書の提出について

荒尾市立有明医療センターあり方検討会において、荒尾市民病院（荒尾市立有明医療センター）第三期中期経営計画に基づき、令和6年度の実施状況を点検・評価した結果、別紙のとおり、報告書を取りまとめましたので、ここに提出いたします。

なお、本計画期間中の実施状況については、近年の物価高騰や人件費の増大、医師の時間外労働規制への対応、人材不足など医療を取りまく環境は依然として厳しいことから、これまでの経営改善マインドを継続し、引き続き健全な経営に努める必要があります。

下記の事項に留意され、持続可能な地域医療に努められるよう切に希望します。

記

- 1 人口減少が見込まれる中、地域住民の生命と暮らしを守る拠点病院として機能するため、政策医療をはじめとする公的病院が担うべき診療科目に係る負担のあり方について近隣自治体や医師会などの関係機関を交えて議論を行い、持続可能な運営基盤の維持に努めること。
- 2 地域医療構想を踏まえ、求められる急性期病院の役割を維持し、地域住民の信頼と安心に応えるためにも、部門別原価管理を実施し、委託契約、物品調達、エネルギー管理等の最適化等を行い、キャッシュフロー重視の資金管理と並行して、コスト意識醸成や経営情報の部門共有を推進し、より一層の経営改善に努めること。
- 3 診療科別に収益性・稼働率・将来需要を精緻に分析し、高収益領域への重点配分と、低稼働・低収益部門での効率化を図り、財務改善と地域医療の必要性の両立を目指し、近年の物価高騰などに対応できるよう効率的な経営に努めること。
- 4 点検・評価の過程で提起された多くの意見については、計画実施段階における検討材料として十分参考にされたいこと。

以上

【添付資料】

- (1) 荒尾市民病院（荒尾市立有明医療センター）第三期中期経営計画の令和6年度実施状況に関する点検・評価報告書（1部）
- (2) 荒尾市民病院（荒尾市立有明医療センター）第三期中期経営計画の令和6年度実施状況に関する点検・評価資料（1部）

